

学友会所属学生の活躍

優秀な成績を収めた部会・大会情報等で本学公式 Web サイトに掲載された記事<2018年1~6月>をご紹介します。皆さまからの温かいご声援、誠にありがとうございます。

写真提供：「中大スポーツ」新聞部

フェンシング部

日本代表として出場

2018年フェンシング ワールドカップ アメリカ大会
ワシントン D.C. / アメリカ合衆国
2018/1/26~27

女子サーブル個人戦 銀メダル

江村 美咲 さん (法1) ※出場時

2018 アジアジュニア・カデフェンシング選手権
ドバイ/アラブ首長国連邦
2018/2/23~3/4

ジュニア男子フルール個人戦 優勝

ジュニア男子フルール団体戦 優勝

永野 雄大 さん (法1) ※出場時

ジュニア男子エペ個人戦 3位

ジュニア男子エペ団体戦 準優勝

古俣 聖 さん (法2) ※出場時

ジュニア男子サーブル個人戦 5位

ジュニア男子サーブル団体戦 3位

渡邊 裕斗 さん (商2) ※出場時

第68回全日本学生フェンシング王座決定戦
駒沢オリンピック公園屋内球技場/東京
2018/6/9

男子エペ (団体戦) 優勝 ※2年ぶり

山田 森太郎 さん (文4)

古俣 聖 さん (法3)

石井 一希 さん (商2)

田尻 航大 さん (法1)

男子サーブル (団体戦) 優勝 ※2年連続

山北 格也 さん (商4)

渡邊 裕斗 さん (商3)

野村 涼 さん (総合政策1)

平田 佳史樹 さん (文1)



重量学部



平成29年度
第14回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会

77kg級 優勝 スポーツ総合アリーナ/埼玉
2018/3/12

原 勇輝 さん (法2) ※出場時

平成30年度
第64回全日本学生ウエイトリフティング
個人選手権大会

85kg級 優勝 はびきのコロセウム/大阪
2018/5/9

原 勇輝 さん (法3) ※最優秀選手

この他にも多くの学生が活躍中！
Web サイトをご覧ください。

女子陸上競技部

2018 日本学生陸上競技個人選手権大会

Shonan BMW スタジアム平塚/神奈川
2018/6/18

女子100mH 優勝

大久保 有梨 さん (商4)

女子棒高跳 優勝

諸田 実咲 さん (法2)

※大会新記録の4m02で優勝

自転車競技部

第57回全日本学生選手権

チーム・ロード・タイムトライアル大会

利根川河川敷 (加須市/羽生市)/埼玉
2018/6/2

優勝 ※2連覇

直井 駿太 さん (経済4)

今村 駿介 さん (法3)

奥村 十夢 さん (商2)

山本 哲央 さん (経済1)



硬式庭球部 望月 勇希 さん (法3)

ITF 男子フューチャーズ大会

(香港)で優勝



望月選手「昨年ケガをしてしまい、試合どころか、練習すらできない状況が続いていました。今回の試合も、試合勘が完全に戻っておらず、まさしく復讐戦の一つと考えていました。ずっと試合に出られない状況だったので、あまり考えず、対応してきた感じでした。そんな中での優勝。コンディションが良くて勝てないこともありまして、今回のようなコンディションでも、勝ち切れた。これがテニスなんだなあ、って改めて思いました。」と語ってくれた。
(取材撮影：広報室)

第18回アジア競技大会 -多くの本学関係者が出場します-

日本オリンピック委員会は8月18日から9月2日までインドネシア共和国・ジャカルタ周辺で開催される第18回アジア競技大会の日本代表選手団を認定しました。本学からは多くの在学生・卒業生が出場いたします。ご声援よろしくお願ひ申し上げます。

2018.7.10 時点 選手のみ掲載

＜在学生＞		
氏名	競技名:種目/ポジション	学部・年
ヘンツヒル メグ	陸上競技:七種競技	文学部4年
ミヤウラ マサユキ	ボート:LM2X	文学部4年
宮浦 真之	ボート:LM2X	文学部4年
ツツキ ジン	バレーボール男子:WS	法学部2年
都築 仁	バレーボール男子:WS	法学部2年

＜卒業生＞		
氏名	競技名:種目/ポジション	所属
イヅク ショウタ	陸上競技:200m-4×100mR-4×400mR	ミスノ株式会社
飯塚 翔太	陸上競技:200m-4×100mR-4×400mR	ミスノ株式会社
木村 淳	陸上競技:4×400mR・混合4×400mR	大阪ガス株式会社
シノハラ ケイタ	水泳/競泳:背泳ぎ	イトマン東進
砂間 敬太	水泳/競泳:背泳ぎ	イトマン東進
シノハラ シンリ	水泳/競泳:自由形	イトマン東進
塩浦 慎理	水泳/競泳:自由形	イトマン東進
カノ ユウタ	ボート:M2-	東日本電信電話株式会社
高野 勇太	ボート:M2-	東日本電信電話株式会社
チノカ タカスガ	バレーボール男子:WS	株式会社 プレイヤーズスポーツクラブ
千々木 駿介	バレーボール男子:WS	株式会社 プレイヤーズスポーツクラブ
デンダ リョウタ	バレーボール男子:MB	豊田合成株式会社
傳田 亮太	バレーボール男子:MB	豊田合成株式会社
カワイ タケヒロ	ウエイトリフティング:77kg級	総合警備保障株式会社
笠井 武広	ウエイトリフティング:77kg級	総合警備保障株式会社
丸中 大明	ソフトテニス:後衛	西日本電信電話株式会社
シノモト ケンタ	バドミントン:男子団体 男子シングルス	トナミ運輸株式会社
西本 拳太	バドミントン:男子団体 男子シングルス	トナミ運輸株式会社
ヤマシタ トシカズ	ライフル射撃:FR3×40	自衛隊体育学校
山下 敏和	ライフル射撃:FR3×40	自衛隊体育学校
シミス アヤノ	ライフル射撃:AR60W-F3×40-ARMX	自衛隊体育学校
清水 綾乃	ライフル射撃:AR60W-F3×40-ARMX	自衛隊体育学校
青木 沙和	セバタクロウ:レグチーム クワッド	ゼビオナビゲーターズ ネットワーク株式会社

本学は2020年東京五輪に20人以上の本学代表選手(在学生・卒業生)を送り出すことを目標に掲げています。

2020年東京五輪への出場選手育成に向けて、在学生の競技能力の向上と優秀選手の獲得・育成に取り組み、将来性豊かなアスリートを強化選手として支援しています。選手たちは、フィジカルトレーニングや管理栄養士による食事指導等の選手育成プログラムに取り組み、「世界で戦える身体づくり」に励んでいます。今回、彼らが日々のトレーニングに真摯に取り組んだ成果の一端をご紹介します。共に切磋琢磨しながら2020年を迎えられるよう、引き続き、皆さまからの応援・ご支援をお願い申し上げます。



今村 駿介 さん



江村 美咲 さん



部井久 アダム 勇樹 さん



梅村 優香 さん

今村 駿介 さん <いまむら しゅんすけ> (法3) 自転車競技

ワールドカップチームパシュート準優勝!

2017年UCIトラックワールドカップ (チリ戦) チームパシュート
銀メダル獲得 (日本新記録)

2017年全日本選手権ポイントレース2連覇

2018年世界選手権に2年連続出場を誇るなど、中距離種目ではトップクラスの選手です。

江村 美咲 さん <えむら みさき> (法2) フェンシング

世界選手権個人6位! ワールドカップ個人準優勝!

2017年世界選手権 女子サーブル個人6位・団体4位

2018年ワールドカップ (アメリカ戦) 個人準優勝

国内シニアランキング1位 (2018年6月現在) の実力を誇ります。

部井久 アダム 勇樹 さん <べいく あだむ ゆうき> (法1) ハンドボール

ナショナルチームA代表選出!

2017年高校生の時に、すでにナショナルチームA代表に選出

2018年各国際試合において日本代表として活躍

ハンドボール界期待の19歳です。

梅村 優香 さん <うめむら ゆうか> (文1) 女子卓球

ワールドツアーU-21優勝!

2017年ITTFワールドツアープラチナジャパンオープン女子U-21優勝

2017年全日本卓球選手権大会女子ダブルス2位。本大会決勝戦では、リオ五輪代表選手のいる相手チームより1セット獲得するなど、今後の活躍が期待される選手です。

クレセント・アカデミーのジュニアスポーツ育成



「子どもたちに、楽しんでほしい」。

中央大学のジュニアスポーツ教室はただその思いから始まりました。

「どなたでも学べる」をコンセプトに各種生涯学習講座を運営している中央大学クレセント・アカデミーがジュニアスポーツ教室を開始して、今年はや12年目を迎えました。種目や競技の種類を年々増やして、2018年度では、「ジュニアダンス教室」、「小学生のためのラクロス教室」、「ジュニアハンドボール教室」、「ジュニアサッカー教室」、「ジュニアバスケットボール教室」、「ジュニア野球教室」、「ジュニア陸上教室」、「ジュニアテニス教室」の8種類があり、その他に年齢層を限定せずにどの世代でも受講できるスポーツ教室として「ノルディックウォーキング教室」、「フェンシング教室」、「水泳教室」の3種類も展開しています。

大きな魅力の一つは、これらの講座が充実した大学のスポーツ施設を使用して行われることです。さらに各教室は主に体育連盟所属部会とコラボレーションしており、現役大学生の選手、監督コーチ陣やOGOBなどが子どもたちに直接指導をしています。子どもたちは、国内外の第一線で活躍する一流のアスリートたちや、世界レベルを目指すトレーニングの実践者たちと身近に触れ合っ、スポーツの楽しさを実感することができます。一流のアスリートと触れ合う刺激は心身を育む芽となります。また、学生アスリートたちにとっても子どもたちとの関わりは、学びが多い財産となっています。大学スポーツ界や大学生アスリートの醸成だけに留まらず、ジュニアスポーツ教室を通じて有形無形の財産を次世代の子どもたちへ受け継いで行くことも中央大学の重要な使命であるとして取り組んでいます。

